

別 紙

東北農研・青森野菜研合同セミナー 「高品質な国産ニンニク周年供給のための収穫後処理技術」開催要領

1. 趣旨

ニンニクの周年供給は貯蔵したりん茎を計画的に出荷することで行われるが、常温貯蔵では収穫後3、4か月を経過すると発根や萌芽により商品価値が低下する。これを回避するため、収穫前の萌芽抑制剤処理が行われていたが、平成14年に薬剤の農薬登録が失効したことにより、貯蔵条件は常温から氷点下条件へと大きく変化した。国産ニンニクは高い品質によって競争力を維持してきたが、貯蔵条件の変化によって新たな品質低下症状の発生等の問題が生じている。

農研機構東北農業研究センターと青森県産業技術センター野菜研究所は、平成15年から協力してニンニクのポストハーベスト研究に取り組んできた。また、平成21年度からは滋賀県立大学、石川県立大学とも連携し、プロジェクト研究（農林水産省「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」）に取り組んでいる。本セミナーでは、同プロジェクト研究で得られた研究成果等を紹介し、開発した技術の普及を図るとともに、ニンニク生産に関係する人々との意見交換を通じて、より現場ニーズに即した技術開発につなげることを目的とする。

2. 日 時 平成23年12月16日（金）13:00～17:00

3. 場 所 青森市文化会館 中会議室（4F）
（〒030-0812 青森市堤町1丁目4番1号 TEL:017-773-7300）
会場へのアクセスに関する情報
http://www.actv.ne.jp/~aobunspo/01_kaikan/kaikan_intro2.htm

4. 内 容

(1) 生産現場からの提言

「ニンニク」産地における生産・流通の対応と課題

周年出荷に挑戦・・・！ しかし、その課題も多し

十和田おいらせ農業協同組合 斗澤 康広

(2) 研究報告

- 品質保持に最適な長期貯蔵条件および乾燥法の開発 東北農業研究センター 山崎博子
- テンパリング乾燥の実用性の検証 青森県産業技術センター野菜研究所 庭田英子
- MRIによるくぼみ症発生の非破壊検出 石川県立大学 石田信昭
- 組織学的手法によるくぼみ症の発生機構の解明 滋賀県立大学 上町達也
- 出庫後の発根・萌芽を抑制する高温処理法の開発 東北農業研究センター 山崎博子

(3) 総合討論

5. 主催 独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター
地方独立行政法人 青森県産業技術センター野菜研究所
後援 全国農業協同組合連合会青森県本部、青森県

6. 参集範囲 生産者、普及・行政関係機関、企業・民間団体、大学、公立研究機関、農研機構等

7. 参加費：無料

8. 参加申し込み／お問い合わせ先

- ・定員 200 名（先着申込み順）
- ・別添の参加申込書に必要事項を記入し、12月2日（金）までに電子メールまたはファックスでお申し込み下さい。
- ・参加申込書は、東北農業研究センターホームページ（<http://tohoku.naro.affrc.go.jp/>「イベント/セミナー」）からもダウンロードできます。

（青森県以外の方）

農研機構 東北農業研究センター 畑作園芸領域 ニンニクセミナー事務局
〒020-0123 岩手県盛岡市下厨川字鍋屋敷 92 電話：(019) 641-9246
E-mail : ninniku-seminar2011@ml.affrc.go.jp
FAX : (019) 641-6315

（青森県の方）

青森県産業技術センター野菜研究所 ニンニクセミナー事務局
〒033-0071 青森県上北郡六戸町犬落瀬字柳沢 91 電話：(0176)-53-7171
E-mail : ninniku-seminar2011@aomori-itc.or.jp
FAX : (0176) 53-8934